

【第4回会議録】安中市役所庁舎・防災拠点センター建設基本計画策定市民会議

開催日時	令和4(2022)年8月31日(金)午後6時30分から午後8時40分まで
開催場所	安中市役所本庁舎3階 第305会議室(安中市安中一丁目23番13号)
出席委員 (敬称略)	北野敦則(会長)、杉田琢己、萩原豊彦、吉田茂、神戸友子、久保智美、上原徹、新井定雄、金井弘恵、中山伸子、上原将太、黛若葉、宮川直子、嶋田有美子(計14人)
欠席委員 (敬称略)	金井昌信(副会長)、堀越敏男、中島勝美、瀬下由美子(計4人)
事務局等	岩井市長 [安中市企画経営部資産活用課庁舎建設室] 大溝課長、大野室長、大河原主査、野川主事 [株式会社石本建築事務所] 2名
傍聴者	5名
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 安中市長 岩井 均 会 長 北野 敦則</p> <p>3 議 事 (1) これまでの経過報告 ・「市役所新庁舎建設の精査」について 【資料No:1】 ・安中市新庁舎建設基本構想の改訂について【資料No:2.3】 (2) 安中市新庁舎建設基本計画(素案)の報告 【資料No:4】 — 休 憩 — (3) 意見交換</p> <p>4 その他 (1) パブリックコメント実施のお知らせ (2) その他</p> <p>5 閉 会</p>

<会議要旨>

1 開会 午後6時30分から開会した。

2 あいさつ

岩井市長、北野会長の順にごあいさつし、北野会長のごあいさつの後、市長は退席した。

[市長あいさつ]

みなさんこんばんは。

安中市長の、岩井均でございます。

今日は、お仕事等で大変お疲れのところ、この会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私はこの4月に執行されました安中市長選挙で、市民の皆様から大変多くのご支援をいただきまして、市長に就任をさせていただきました。誠にありがとうございます。

選挙公約といたしまして、これまでの新庁舎建設の方針では、まちづくりの視点が欠けていると考え、「市役所新庁舎建設問題の精査」を掲げました。その後、市長に就任してから直ちに、旧安中高校跡地への新庁舎建設のメリット・デメリット、安中体育館・格技場の解体方針、谷津庁舎・松井田庁舎の活用方針、必要な「市民への丁寧な説明」の精査に着手し、完了いたしました。

その中で、市事務局と話しをし、これまでの市民会議での委員の皆様のご意見について、よく確認いたしました。

特に、これまで市が計画してきた、防災拠点センターとしての整備や、市民活動スペースや多世代交流スペースを庁舎に設けることへの多くの懸念があるということ、また現在の本庁舎や松井田庁舎などの利活用も、十分に検討すべきであることなどを様々お伺いし、多くのご意見について私も理解し、納得いたしました。

そして、これまでの市民会議の皆様のご意見や、私の方で指示しました新庁舎建設の精査の結果を踏まえて、旧来の防災拠点センターや市民活動・多世代交流スペースの整備を盛り込んだ、基本構想から転換を図ることといたしました。新しい市役所庁舎の計画では、機能的でありながらも、可能な限りコストを抑え、将来の財政負担を減らすことを最優先といたします。

また、環境に配慮しながら、新しいまちづくりの核となる、既存庁舎も活かした機能的で、「シンプル・コンパクト」なSDGs型庁舎を目指す方向性といたしました。

そして、昨年10月に策定した基本構想を改訂し、今般、基本計画の素案をまとめることができました。

本日まで全4回の会議と、他自治体視察へのご参加などにより、様々な市庁舎建設に関して、ご協力くださいましたことに心から感謝申し上げます。

市民の皆様のご期待に応えられるよう、全身全霊を傾けて「豊かで魅力ある元気な安中市へ」躍進していけるよう新庁舎建設事業に取り組んでまいります。

本日は最終回となり、大変お世話になりますますがよろしく願い申し上げます。

以上であいさつとさせていただきます。よろしく願いいたします。

[北野会長あいさつ]

みなさんこんばんは。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

前回の会議からしばらく時間が経ちましたが、本日最終回ということで、本日も皆様からの活発なご意見がありますと大変うれしく思います。

3回目までの中で皆様から頂戴した意見も踏まえて、先ほど市長からごあいさつがあったとおり、市で市庁舎の精査をしたようなので、その結果と基本構想の改訂について、説明があるようです。これまでの議論が無駄になったのではなく、委員の意見を踏まえた結果になっていると思います。防災拠点センターといっても災害時に市民が市役所に押し寄せてしまうとダメということが、この会議では一番大きな問題点として挙げられていました。そういったことが改訂されてきたようなので、その報告について、皆様からご意見がいただければと思います。

本日もよろしく願いいたします。

3 議事

(1) これまでの経過報告

- ・「市役所新庁舎建設の精査」について
- ・安中市新庁舎建設基本構想の改訂について

[事務局より資料1～3のとおり説明]

(2) 安中市新庁舎建設基本計画（素案）の報告 【資料No：4】

[事務局より資料4のとおり説明]

— 休 憩 — (10分)

(3) 意見交換

[委員意見・質疑応答]

Q1 委員：体育館・格技場は今日も子ども達が使っていたが、今後いつまで使うのか。新しい庁舎はいつまで使うのか。将来的に更に新しい庁舎を建てる際の候補地などの見通しはどう考えているか。

A 事務局：体育館・格技場は耐震性もあるので、長寿命化を図りながら、新庁舎と一体的に活用できればと考えている。いずれ解体しなければならない時期もやってくるが、なる

べく長い期間使えればと考えている。更なる新しい庁舎については、現時点ではそこまでは見据えていないが、可能な限り新しい庁舎を使いながら、その後の社会情勢を考慮して検討することになると思う。

A 会長：鉄筋コンクリート造の耐用年数は 50～60 年。アルカリ性のコンクリートの中性化が始まると、鉄筋が錆び始めるため。鉄骨造の場合は、鉄が錆びないように維持管理を続ければ永遠に使うことは可能だが、現在も社会情勢の変化による空き家問題などもあるが、今後の社会情勢により臨機応変に考えれば良いと思う。ただ折角なので 100 年くらいは使って欲しいと思う。

Q2 委員：防災拠点センターとして、広場やヘリポートが無くなったこと、多目的スペースが見直されたこと、また、庁舎を南側に配置したことは、駐車場エリアで敷地の高低差を吸収できるので、良いことだと思う。建設規模を縮小していったことも良いが、松井田庁舎の空きスペースを活用すれば、7,200 m²よりももっと面積を減らすことが可能だと思う。また松井田庁舎には素晴らしい議場もあるので、十分利用できるのではないかな。

A 事務局：できる限り新庁舎の延べ床面積の圧縮をこれからも検討していきたい。その一方で、議会と執行部の建物が分かれてしまうと不便な部分もあるので、現時点では議会も新庁舎への移転を考えている。

Q3 委員：現在地は賑わい創出の場ではなく、既存の新庁舎に部署を残すなどして利用してはどうか。

A 事務局：精査の結果としては、西毛広幹道を活かしたまちづくりの観点から、現在地は賑わい創出の場とした上で、既存の新庁舎にどのような機能を持たせるか、今後検討していきたいと考えている。

A 会長：新しい建物をコンパクトに建てて機能集約するという考えもあるが、既存の庁舎を活かしながら新しい庁舎を建設することがコストダウンに有効なので、この会議の意見としては、今後も松井田庁舎の議場を含めて、現在の新庁舎など既存庁舎の活用方法の検討も並行して続けて欲しいとする。

Q4 委員：防災教育についてはどのように取り組むのか。災害が発生してからでは遅いので、啓発活動ができる場所があった方が良く思っている。

A 事務局：精査結果や改訂後の基本構想では、新庁舎には防災広場や防災教育スペースは設けないことにしている。避難所としては、現状どおり、安中体育館を考えている。市民への防災教育としての啓発活動は、庁舎建設とは切り離すことになるが、今後も並行して行っていきたいと考えている。

A 会長：現在地の既存の新庁舎を防災教育のスペースとして活用することもこの会議の意見として挙げたいと思う。

Q5 委員：使い勝手のよい新庁舎となると良い。現在地の既存の新庁舎には、駐車場含め手狭になっている社会福祉協議会を入れて欲しいと思っている。

A 事務局：現在地の既存の新庁舎の活用方法は、市全体の問題として今後も総合的に検討し

ていく。

Q6 委員：九十九小学校など松井田で閉校した校舎の利活用も、色々な考えを持った地元の方もいるので、地域活性化の観点から考えてほしい。

A 事務局：閉校した校舎の利活用については今後検討を進めていく。

A 会長：有名建築家の建築を残すかどうかなどは、全国的に議論になっていて難しい問題。維持管理費用もかかるので解体してしまうこともあり、現在地の既存の新庁舎についても、維持管理費も考えると何がベストかは難しいところであるが、このような意見もあったということはこの会議の意見としていきたい。

Q7 委員：谷津庁舎はいつまで使うのか。また、西毛広幹道の開通や新庁舎建設により、新しいまちづくりがどうなるのか、景観をどう活かしていくのか、イメージが湧かない人が多いと思うので、新駅も含め、街並みのCG、パース等があると良い。商店街にチャレンジショップなどテナントを設けて活性化するためには駐車場の整備も重要だと思う。現在地の既存の新庁舎も、今後の利活用を検討する上でのモデルとなり得るので、先々のことを考えて検討すると良い。

A 事務局：谷津庁舎についても、なるべく長い期間使えればと考えている。将来的な職員数の減少などにより、新庁舎に空きスペースができれば、老朽化した庁舎に入居している部署は、移転していく考えもある。まちづくりのイメージとしては基本計画素案の31、32 ページのような一体的な活用の想定を持っている。駐車場の対応は商店街利用者も考慮して柔軟にできるように検討していく。

Q8：高齢者が移動しやすいようにバスなど公共交通の便も考えて欲しい。

A 事務局：今後も公共交通のあり方は市として議論を深めるものと考えている。

Q9 委員：新庁舎をコンパクトにしていく方向性は良いと思う。今まであったもの、松井田地区にあるものも大切に保存して、注目してもらえるようにしてほしい。

A 事務局：市長公約にもある考え方かと思う。事務局から他部署に話をつなげていく。

Q10 委員：北側から入る庁舎となり、松井田庁舎と同じ配置となるが、新庁舎は明るく開放的な庁舎となるように期待する。

Q11 会長：現庁舎は無くなり、市役所は移転するという前提でこの会議は始まったが、現有施設を活かして新庁舎をコンパクトにしていく方針が変わった。その中で西毛広幹道を活かしたまちづくりや交通の便、使わなくなった通りにあるモノも踏まえて欲しいという意見もあった。新庁舎建設については、基本計画に基づき進めてもらいながらも、当初企画していた将来を担う若者によるワークショップを、現在地の既存の新庁舎の利活用や、西毛広幹道を活かしたまちづくりを検討してもらえるとより良いまちづくりの意見が出てくると思うので、この会議からの意見としてまとめてもらいたい。

Q12 委員：西庁舎や国際交流協会の建物部分に入居している団体の移転先も明記した方が良い。現在地は無駄のないような活用をして欲しい。

A 事務局：各入居団体とは調整を進めながら移転先を検討していく。

4 その他

(1) パブリックコメント実施のお知らせ

9月5日～30日の間で実施する旨等、事務局より周知した。

(2) その他

5 閉 会 午後8時40分に閉会した。